

授業科目（ナンバリング）	地球環境と倫理（N4D226）			担当教員	出口 雄也・小林 秀光・倉岡 卓也		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
科学技術の発展に伴う人間活動の増大による環境汚染は、地域的環境破壊（公害を含む）にとどまらず地球規模で引き起こされている。その実態を正しく理解するために歴史を振り返り、どのような課題に直面したのか、人類がそれらをどのように解決してきたのかを倫理的視点とあわせて学ぶ。また、環境や社会的公正に配慮したエシカル消費（倫理的消費）についても、トピックスを含めて一緒に考えたい。							②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	地球環境問題及び対策について倫理的観点から説明できる。				確認テスト	25%	
情報収集、分析力	メディア、新聞、本などから得られる地球環境問題の情報をできるだけ正しく判断し、解決に向けた行動につなげることができる。				レポート	30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	各国の地球環境問題の捉え方を理解し、問題点の指摘と解決策の提案ができる。 医療人として倫理的にどうあるべきか述べることができる。				授業内課題 確認テスト レポート	5% 20% 20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業内課題（5%）、確認テスト（45%）、レポート（50%）により総合的に評価する（筆記試験はありません）。  <b>授業内課題は業内での提出であるため</b>、授業への出席、確認テスト・レポートの提出が単位修得に重要となる。  レポートは5回（10点×5）課すが、内容については授業内で指示する。授業内課題・レポートのフィードバックは授業内あるいはポートフォリオ内で実施し、受講者の理解度向上につなげる。</p>							
授業の概要							
<p>授業では、パワーポイントを使用して、地球環境問題、またそれらに対する取り組みについて、最新の事例を紹介しながら、意見交換を交えて進めていく。  この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない  参考書：講義時に適宜紹介する  指定図書：「新・環境倫理学のすすめ」（丸善） 加藤尚武（著）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>普段からニュースや新聞を通して環境に対する意識を高め、視野を広げてください。質問は基本的に在室中であれば可能ですので、薬学研究棟3階P308（出口）、2階P201（小林）、2階L205（倉岡）を訪ねてください。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標 番号*
1	はじめに	授業の方法・評価に関する説明、地球環境の実態（出口）	関心のある地球環境問題を挙げておく レポート①作成	6
2	環境問題の歴史	世界の環境問題への取り組みの歴史（出口）	資料の復習 レポート②、③作成	43, 550, ADV87
3	酸性雨	大気汚染物質、SOx・NOx 削減への取り組み（出口）	資料の復習	545, 559
4	オゾン層の破壊	オゾン層破壊の影響、オゾン層破壊に対する取り組み（出口）	資料の復習	545, 548
5	地球温暖化	温室効果ガスと排出量、京都議定書・パリ協定発効までの経緯、これからの取り組み（出口）	資料の復習	43, 545, 548
6	エネルギー問題	エネルギー消費の現状、エネルギーの高度利用術（出口）	資料の復習	43, 548
7	戦争がもたらす環境破壊①	過去の戦争（太平洋戦争及びベトナム戦争など）がもたらした環境破壊（小林）	資料の復習	5, 6, ADV177
8	戦争がもたらす環境破壊②	現代の戦争（ロシアのウクライナ侵攻及びパレスチナ紛争など）やテロにより起こる環境問題（小林）	資料の復習	5, 6, 7
9	自然災害による環境破壊	自然災害（地震や火山噴火など）がもたらす環境破壊（小林）	資料の復習 レポート④作成	27, 28, 29, 30, 545, 546
10	生物多様性	ワシントン条約、カルタヘナ議定書等（倉岡）	資料の復習	30, 548
11	有害物質による環境汚染	重金属、農薬、ダイオキシン類等の現状と法規制（倉岡）	資料の復習 レポート⑤作成	527, 528, 537, 545, 547, 548, 550, ADV177
12	廃棄物問題	廃棄物処理の歴史、廃棄物の種類と量（出口）	資料の復習	548, 564, 565
13	持続可能な開発	循環型社会の構築、リサイクル関連法規（出口）	資料の復習	6, ADV87
14	食料問題	人口と食糧、貧困（出口）	資料の復習	545, 548
15	水資源の危機	水資源、水質汚濁（出口）	資料の復習	545

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、大学 HP 掲載のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。